

令和3年度 宮城野高等学校 「志教育」年間指導計画

「◎」特にあてはまる  
「○」あてはまる

3つの視点			かかわる	もどめる	はたす	かかわる	もどめる	はたす	かかわる	もどめる	はたす	かかわる	もどめる	はたす
各教科指導目標	国語	○	○	○	地理歴史	○	○	○	公民	○	○	○	○	○
	読解力を身につけさせ、他者の気持ちを適切に受けとめる感受性と論理的な思考力を育成し、問題解決能力を向上させる。	日本と世界の歴史・地理を学ぶことで、異なる文化やその根底にある異なる価値観に対する理解を深め、国際社会に向かって積極的に貢献できる資質を養う。			先哲の思想から人間の社会的存在に対する関心を高め、複雑な現代社会の仕組みについて理解することで主体的に社会に貢献しようとする公民的資質を養う。			自ら意欲的に学ぼうとする態度と数学的なものの考え方を理解し、活用する能力を育て、問題解決能力を向上させる。			自然の事物・現象への関心を高め、実験観察を通して科学的に探求する能力と態度を養い、社会に貢献する人材を育成する。			
保健体育	○	○	○	芸術	○	○	○	外国語	○	○	○	家庭	○	○
保健と体育の内容を関連づけながら、健康の自己管理能力を高め、明るく豊かで活力ある生活を育む態度を育てる。	芸術の幅広い諸活動を通して生涯にわたって芸術を愛する心情を育てるとともに、豊かな情操を養い、表現力を高める。			英語を積極的に習得し使う場面を増やすことで、異文化交流を深め、国際化にふさわしい態度と教養を身につける。			健全な家庭や社会生活についての知識と技能を習得し、男女がともに協力して自己の役割や責任を果たす態度を育てる。			情報及び情報技術を活用するための知識と技能を習得し、情報化の進展に他と協同して主体的に対応できる能力と態度を育成する。				
学年共通						かかわる	もどめる	はたす	各学年指導目標					
指導内容	①あいさつの励行	◎	○	○	1年	○高校生としての自覚を持ち、基本的な生活習慣の確立を目指す。 ○諸行事を通して自己理解と他者との関わり大切さを理解する。 ○進路意識を形成し、社会で生き抜く分野について主体的に考えさせる。								
	②友人との良好な人間関係、教職員との節度ある師弟関係の構築	◎	◎	○										
	③ベル着の励行と課題提出の徹底	○	◎	◎	2年	○基本的な生活習慣を確立し、校内外での規範意識を育てる。 ○様々な活動を通して、自主性・協調性・主体性を育成する。 ○自己理解と進路意識を形成し、社会参画・貢献の意識を育てる。								
	④場にふさわしい服装とマナーの育成	○	◎	◎										
	⑤清掃活動の徹底	◎	○	◎	3年	○互いに高め合える人間関係を形成する姿勢を育てる。 ○進路に関する具体的な課題を設定するとともに、将来の社会貢献への意識を高める。 ○進路達成のための強い意志と、自らの達成計画に邁進する行動力を培う。								
指導内容		ねらい			指導教科等		実施時期	時数	かかわる	もどめる	はたす			
1年	読書会による思考プロセスの深化(発表含む)*4	読書会を通して、物事を論理的に整理して表現する方法や、記述内容に対するクリティカルな思考を深める。			総合的な探究の時間		10～12月	7	◎	○	○			
	宿泊研修(事前・事後学習)*2	訪問地の事前研究や研修後のまとめ・報告を通し、課題意識を持ちながら、得たものを論理的にまとめ、自分の意見を述べる方法や形式を学ぶ。			総合的な探究の時間		9～10月	7	◎	◎	○			
	傾聴活動による思考プロセスの深化	教員が開設する講座や、大学教授・職業人の講話を通して、社会や自分自身についての考察を深める。			総合的な探究の時間		4～7月	12	○	◎	○			
2年	研究テーマに関わる社会問題について知る	各自が研究したいテーマに関わる社会問題に触れ、そのまとめを通して理解を深め、社会への関心を高める。			総合的な探究の時間		4～12月	5	◎	◎	○			
	個人プレゼンテーション	予め編成済みの班内で、各自が研究したいテーマについて発表し、自己の関心を明確にする。			総合的な探究の時間		4月	2	○	○	○			
	グループ研究テーマ決め	プレゼンをもとにグループ(3～5人)を編成し、研究計画を立てる中で自己の課題を明確にする。			総合的な探究の時間		5月	2	○	○	○			
	訪問学習の計画*1	研究計画をもとに訪問先と研究の進め方について話し合う中で、自己の主張と相手への配慮の大切さを学ぶ。			総合的な探究の時間		9・10月	1	○	○	○			
	訪問学習の実施*1	計画書に基づいて課題解決の糸口を探し、訪問先では礼儀正しく対応する。			総合的な探究の時間		10月	3	○	◎	◎			
	訪問学習の報告*1	グループ毎に学習の成果を班内で報告する。パワーポイントなどで分かりやすく発表する。			総合的な探究の時間		10月	1	○	○	○			
	プロジェクト・スタディⅠ(課題研究)*3	個人課題研究のテーマを探り、成果の中間発表を通して、自己の課題を深化させる。			総合的な探究の時間		10～2月	14	○	◎	◎			
3年	進路講演会	進路意識の高揚、生き方の模索、職業観の育成をめざす。			学年行事		5月	3	○	◎	○			
	卒業生に聴く	自己の進路目標に沿った講座を1つ選び、卒業生の講話を聴くことにより、進路意識を高める。			学年行事		5月	3	○	◎	○			
	プロジェクト・スタディⅡ(課題研究)*3	個人課題研究を行う。成果を発表し、論文にまとめ、自己の課題を深化させる。			総合的な探究の時間		4～7月	16	○	◎	◎			
	フロンティア・タイムⅢ(課題研究)*2	卒業制作に向けての取り組みと関連させ、深化と総合化をはかり、作品と論文を完成させる。			総合的な探究の時間		4～12月	22	○	◎	◎			

\*1は総合学科と普通科、\*2は美術科、\*3は総合学科、\*4は普通科のみの活動

普通科合計時数	43
総合学科合計時数	66
美術科合計時数	56